

秋田工業高等専門学校

数理・データサイエンス・AI 教育プログラム(リテラシーレベル)

目的

数理・データサイエンス・AI への関心を高め、
その**基礎的素養**を修得させる。

- ・ 現代社会におけるデータや AI の利活用に関する知識
- ・ データを分析した結果から問題等を発見する能力

修了要件

情報基礎 (1 学年) および数学ⅢB (3 学年)
の単位を修得すること

実施体制

運営責任者： 校長

プログラムの改善・進化：
教務委員会

プログラムの点検・評価：
分析評価委員会
自己点検評価委員会

授業に含まれる内容	
社会で起きている変化を知り、数理・データサイエンス・AIを学ぶことの意義を理解する AIを活用した新しいビジネス/サービスを知る	データを適切に読み解く力を養う
どんなデータが集められ、どう活用されているかを知る	データを適切に説明する力を養う
さまざまな領域でデータ・AIが活用されていることを知る	データを扱うための力を養う
データ・AIを活用するために使われている技術の概要を知る	
データ・AIを活用することによって、どのような価値が生まれているかを知る	
データ・AI利活用における最新動向 (ビジネスモデル、テクノロジー) を知る	